

編集後記

- 今月号のブックレビュー『「首尾一貫感覚」で心を強くする』で紹介されている3つの感覚「だいたいわかった（把握可能感）」「なんとかなる（対処可能感）」「どんなことにも意味がある（有意味感）」は、異動する先生にも役に立つ考えだと思います。三好真史先生も連載（2018年11月号）で、この考えを紹介してくれています。
- 引き継ぎのためのシートに、その子の課題だけでなく、「できるようになったこと」や「強み」など、ポジティブな面を記入する欄が設定されるようになってきているという話を聞きました。時代の変化を感じます。課題を明確にし、その対応策を引き継ぐことは大切なことですが、それに加え、子どもの成長を確認して教師間で共有したり、子どもに伝える機会がつけられると、年度末の学校の雰囲気はさらによくなるのではないのでしょうか。（こ）

次号のお知らせ

特集1 新年度のアイスブレイクでリラックスと集中を

新年度の学校はある種の緊張に満ちています。その緊張を、どのようにリラックスと集中が併存する「より質の高い緊張」へと導いていくか。具体的な工夫や方法を紹介していきます。

特集2 「気になる子」へのかかわり、最初にこれを

新年度はさまざまな点で「気になる子」が出てきます。そのような子に最初にどんなかかわりをするか。まずは声をかける、事前に情報を整理するなど、「気になる子」へのかかわりの始まりを考えます。



学校教育相談

2019年 平成31年 3月号

定価 800円（本体 741円）

2019年3月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <http://www.honomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板



- ・2018年12月号の特集「場面緘黙への理解を深めよう」が好評でした。インタビューに応じてくださったシンガーソングライターの若倉純さんのところにも、教員やスクールカウンセラーの団体から研修の依頼や問い合わせが届いているそうです。若倉さんから、2019年6月2日に、場面緘黙経験者による発信ライブ「かんもくアコースティックライブ」を東京で開催するという情報が届きました。出演メンバーは、場面緘黙を経験したシンガーソングライター3名とナレーター1名の計4名。詳しくは「かんもくアコースティックライブ」で検索をお願いします。

● 本誌の2019年4月号からの1年間の誌代は12,080円（税込 増刊号2冊を含みます）。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円（3冊以上送料サービス）でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。



文書ファイル配布

☆詳しくは奥付を！

ページ下にこのマークが入っている資料のファイル（一太郎・ワード・パワポなど）を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索